第45号　2012年4月5日(木)　　発行責任者　弁護士　村松昭夫（06-6361-0309）

泉南アスベスト早期救済国会通信

●大阪・泉南アスベスト国賠訴訟原告団／弁護団

政治の力で1日も早い解決を！

早期解決に向けて動き広がる

民主党アスベスト議連 小宮山厚労大臣に早期解決を要請

本日午前、民主党アスベスト対策推進議員連盟は、泉南アスベスト国賠原告団・弁護団からヒヤリングを行いました。

ヒヤリングでは、原告団・弁護団が、4月1日に開かれた原告団総会で、「2陣地裁判決の内容を基準とした解決」を決議したことを報告。

「判決には不十分な点もありますが、原告が次々に亡くなり、『誰もいなくなった』となる前に解決してほしい」それが原告の総意であることを伝えました。

原告の切実な思いを受けとめ、民主党アスベスト議連として、小宮山厚労大臣に早期解決を要請することを決めました。

判決の翌朝29日に官邸前で早期解決を訴える原告団と弁護団

自民党はじめ各野党議員も 小宮山厚労大臣に早期解決を要請

3日午後、自民党アスベスト対策関係合同部会が、泉南アスベスト国賠原告団・弁護団のヒヤリングを実施しました。

参加した議員らからは、「去年の大阪高裁の判決は非常識だ。今回の2陣判決で、それがはっきりした」など、国の責任を認めた2陣判決を積極的に受けとめるとともに、一日も早い解決に向けて、「厚生労働大臣に、野党で協力して働きかけていく」ことが表明されました。

これを受けて、6日午前、自民、公明、みんな、共産、社民、きづな、新党日本の各野党の議員が共同で、小宮山厚労大臣に、早期解決を要請する予定です。

泉南アスベスト被害の早期全面解決を求めるアピール

5日正午現在、賛同議員は、9会派・無所属から約一〇〇名にのぼっています。

日弁連会長が声明

日弁連の宇都宮健児会長は4日、「大阪・泉南アスベスト国家賠償請求第2陣訴訟大阪地方裁判所判決に関する会長声明」を発表しました。

声明は、「昨年8月25日の第1陣訴訟の大阪高等裁判所は、工業技術の発達や産業社会の発展を優先し、原告逆転敗訴の判決を下したが、本判決は、「経済的発展を優先すべきであるといった理由で労働者の健康を蔑ろにすることは許されない」と判示して、国がその責務を十分に果たしてこなかったことを再び明らかにした。国民の生命と健康を守る責務は国にとって最も重要かつ基本的な責務であり、最高裁判所は上記高裁判決を見なおすべきである。また、国は本判決を真摯に受け止め、原告らの救済に取り組むべきである」としています。

泉南アスベスト解決アピールへの賛同をおねがいします。

先日からおねがいしている、早期全面解決のための超党派の国会議員アピールへの賛同が広がっています。

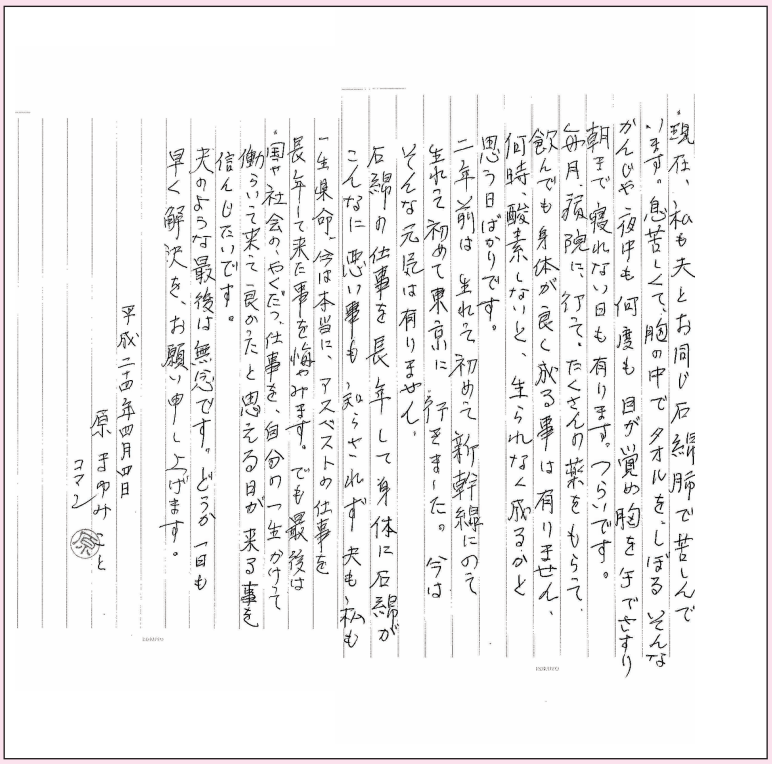
いっそうのご賛同をぜひお願いします。

FAX 06-6361-0520

弁護士村松昭夫宛て

原告らが首相と厚労相に手紙

1陣原告　原　まゆみ



現在、私も夫とお同じ石綿肺で苦しんでいます。息苦しくて、胸の中でタオルをしぼる、そんなかんじや、夜中も何度も目が覚め胸を手でさすり朝まで寝れない日も有ります。つらいです。毎月、病院に、行って、たくさんの薬をもらって、飲んでも身体が良くなる事は有りません、何時、酸素しないと、生られなくなるかと思う日ばかりです。

二年前は生れて初めて新幹線にのって生れて初めて東京に、行きました。今はそんな元気は有りません。

石綿の仕事を長年して身体に石綿がこんなに悪い事も、知らされず夫も私も一生懸命、今は本当に、アスベストの仕事を長年して来た事を悔みます。でも最後は国や社会の、やくたつ仕事を、自分の一生かけて働いて来て良かったと思える日が来る事を信じたいです。

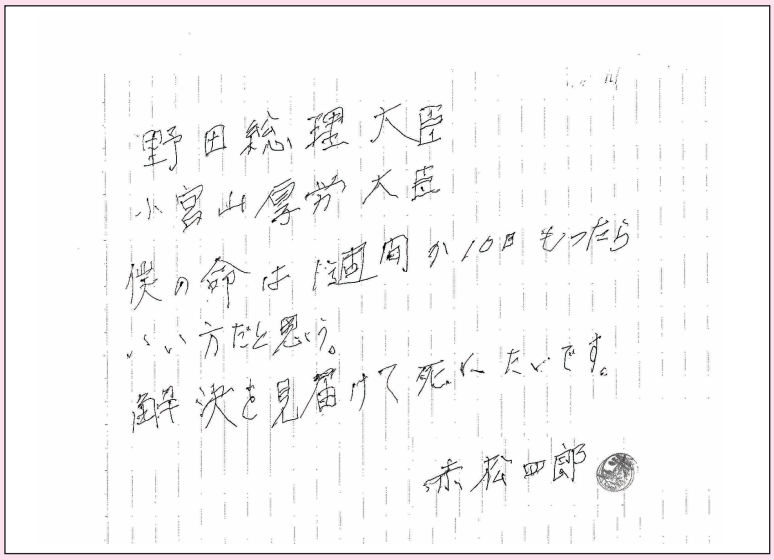
夫のような最後は無念です。どうか一日も早く解決を、お願い申し上げます。

平成二十五年四月四日

原まゆみ

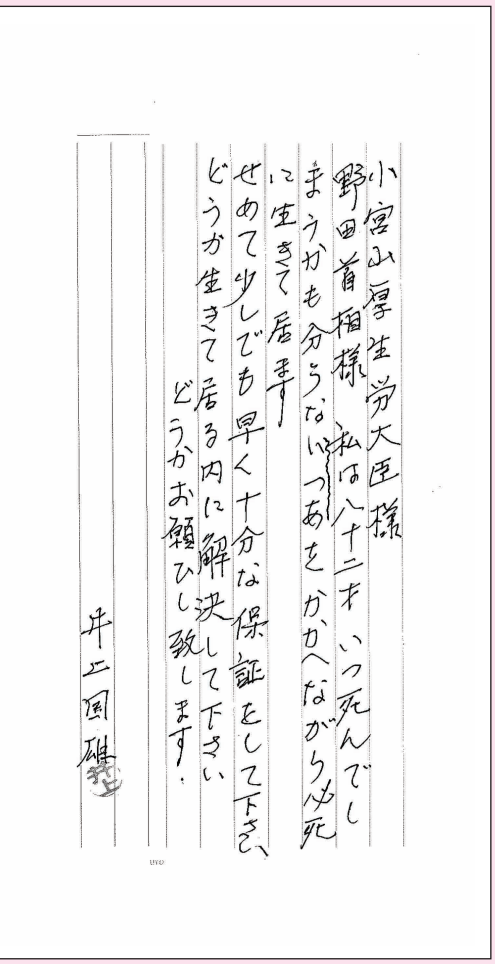
コマ2

2陣原告　赤松四郎



野田総理大臣
小宮山厚労大臣
僕の命は週間か10日もつたら
いい方だと思う。
解決を見届けて死にたいです。

赤松四郎



小宮山厚生労大臣様
野田首相様　私は八十二才　いつ死んでしまうかも分らないつあをかかへながら必死に生きて居ます
せめて少しでも早く十分な保証をして下さい、
どうか生きて居る内に解決して下さい
どうかお願ひし致します。

井上國雄

2陣原告井上國雄

赤松四郎

寺西千世子

高山良子

松山尋子

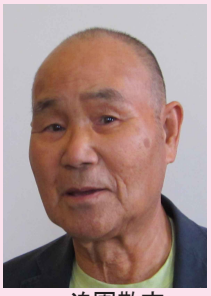
辻野久男

畠山重信

藤原ミヨコ

水本美代子

井上國雄



迫園敬吉

松本ケイ子